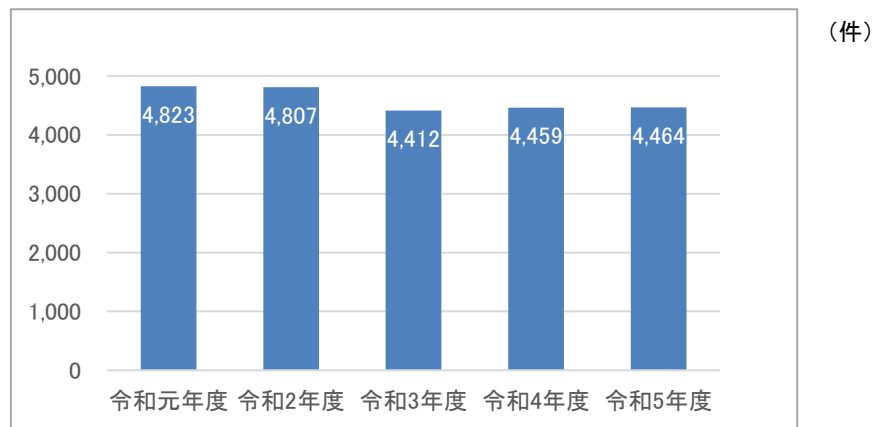


5 手術全身麻酔件数

○項目の解説

麻酔には、意識はあるが痛みを感じない状態にする局所麻酔と、呼吸管理のもと完全に意識のない状態で痛みを感じない状態にする全身麻酔があります。全身麻酔では、局所麻酔に比べて、麻酔医や手術看護師などの負担は大きくなります。このため、全身麻酔件数は、手術部門の業務量を反映する指標となります。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

旭川医科大学病院においては、手術室全身麻酔件数が4,000件台で推移しています。令和3,4年度はコロナ禍による影響を受けましたが、手術部門スタッフ一同の努力により、微減にとどめることができました。令和5年度も手術数が増加していますが、コロナ前の水準には回復していません。当院では、内視鏡下手術用ロボットを用いた各種手術や低侵襲心臓手術、覚醒下手術のような高度先進的な手術が全身麻酔下にて施行されています。そういった手術は比較的手術時間が長くなる傾向にあるため、高度な手術が増えるほど手術件数の増加は抑制されることになります。実際に手術件数自体は頭打ちとなっており、今後大きな増加は見込めませんが、手術室の稼働率は高水準で推移しており、地域医療を支える中核病院としての機能と、高度先進医療を担う大学病院としての機能を十分に果たしていると評価しています。

○定義

DPC データを元に算出した、手術目的の全身麻酔の件数です。検査等における全身麻酔件数は除きます。

○算式

実数